



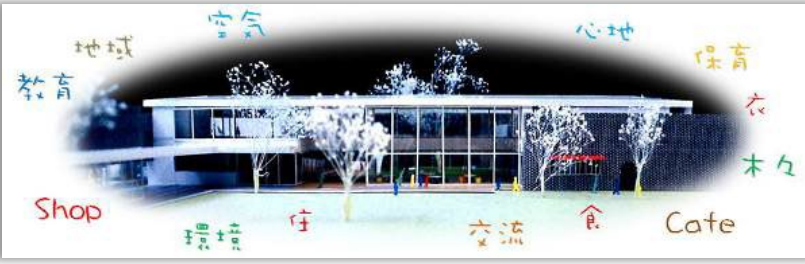
# おかげさまで幼稚園創立50周年・保育所型10周年

【温故知新、豊かな環境の園内。深き価値観を呼び戻し、広き感性を子ども達の心へ育みたい】

～ 『子ども』から子どもを導く『街』への視点 ～

年が明け早くも2月。立春にふさわしく、動植物の繊細な息吹は活発化しており、学園内は確実に春の足音に包まれ始めています。おかげさまで50周年という節目を迎える本年。紛争、デフレやインフレ、リセッション懸念、世界は今、様々な苦境を迎え、国内においても人口減少や構造の変化、様々な指標への懸念などを抱え、制度政策により子ども達の身辺も振り回されることを感じています。しかしながら、いつの時代においても、将来の素地を育む園児たちの環境、また、老若男女、全ての皆様の地域の財産となる環境に際しましては、良質な時空に包まれ、豊かな育みの場として寄り添い続けられるよう、価値の創造と維持を掲げ、学校法人としての主眼でもあります豊かな地域の支えとして機能していけるよう創意工夫取り組んで参ります。

動植物への深い理解と知識を豊かに。物を大切に、物事への理解を深める。文化風習の歴史や意味を大切に。世界で活躍できる日本人としての誇りを大切に。感情で保育をすることなく、形で教育することなく、豊かな知恵と発想と想像力にて子ども達の育みを支えていくことを目指していきましょう。



とといった、国の制度政策の狙いを受け止め、新たな活用を多種多様な運営母体とともに模索していく予定です。「駐車場」と「旧おひさまハウス」は、借地部分にあたりますが、地権者の意向も踏まえつつ、グループ全体の財源確保も視野に、給食のパンや菓子等製造の拠点として、また、保護者の皆様が活用できる憩いの場、また、行先のない小学生などの待合の場、子ども食堂的な機能としても活用できないかを模索していきます。どうしても発生してしまう余剰や廃棄食材などの活用路線においても、SDG'sの一環として有効活用できないものかとの方向性も視野に入れていきます。また、完了検査を終えたのちにも、園外環境の探求や創作が季節に応じた工程で続けられます。「子どもは健康で元気に育てばいいよね。」それは、親世代の価値観であり、健康は当然のこと、知力体力も豊かなことに越したことはありません。「健康で、かつ、利発に賢く深く」。学びへの連続性の糧となる、興味や好奇心、そして、探求心ほか非認知能力を刺激し高められることを狙いとした環境創作を研究し、随時改修を行っていきます。

## 時事通信

2022年、出生数は80万人を割ることが確実になりそうです。都内におきましても、1号児を主にお預かりする幼稚園での園児減少は惨憺たる数字となり、また、女性の就労率、経済活動の変化など、待機児童政策にも翻弄された数年ではありましたが、東京都でも、いよいよピークアウトを迎え、保育所においても、欠員による経営悪化や閉鎖などの声も増え始めました。加えて、雇用難という状況が生み出した、運営費内の人件費比率を無視した(理想的に施設環境や子どもにかかる予算は削られます。)好待遇競争もこれら背景に拍車をかけ、今後は再編への加速が増していくように感じています。

- ◆70年変わらず？実情に見合った人員配置基準を。◆物価に応じた公定価格を。
- ◆保育園でも園庭や送迎環境への予算を。「園庭は近所の公園で可能？」園庭の取得や賃料ほか維持運営のご負担は保護者に委ねざるを得ません。「駐車場や駐輪場の設置義務はなし？」近隣に迷惑をかけるどころか、送迎の安全面も守れません。各園ごとの応負負担で良いのでしょうか？
- ◆1号児の保育の多くを支えるのは家庭です。家庭での保育にも公定価格を支払うべきではないでしょうか？また、預かり保育にも公平な公定価格を。保育政策の肩代わりを幼稚園がしています。
- ◆「解消」から「満足度向上」へ。ご家庭双方の希望が合った場合、年度途中の施設異動を可能に。年度の途中で「転園してきたい」と、園をご訪問頂くことがあります。また「元々第一希望ではなかった」「他に転園したい」という方もいらっしゃる事と思われま。それらは、生活をする中で、勤務地が変わったり、生活パターンが変わったり、また、他にも様々な環境変化や価値観の変化が発生する場合があると考えられ、出来る限り阻害されるものではないと考えています。希望集約によるマッチングサービスを。
- ◆幼稚園教諭や保育士の賃金は、国が決めてはいかでしょうか？そもそも園に支払われる公定価格の中に人件費相当分があり、「好待遇！高賃金！」などという園の勝手な水準での経営は、環境投資を削り、欠員が発生すれば賃金未払いや突然の閉鎖など、多くの子ども達やご家庭を翻弄する事態となりかねません。運営の本質は無視され、賃金優遇に走る保育教諭による過当競争にも繋がります。

様々なことが浮かんできます。しかしながら、なかなかそれらは実現しません。大きく改善される期待も難しく感じます。かつ、低成長下でのデフレサイクルに埋もれてきた日本の物価は、今後、成長を続けてきた諸外国の物価水準へと引き上げられていくでしょう。当然、その中で維持や運営をされてきた園施設も、その構造の中で、合理化され、簡略化され、陳腐化していく懸念を持たざるを得ませんが、せめて、子ども達の重要な成長段階である乳幼児期の環境だけは、時代背景という社会の都合に翻弄されず、安定し、恵まれた環境の中で、育みの根を守り続けたいと思うものです。

## NEWS

- 2023年3月、全国認定こども園協会、東京都支部活性化大会が本学にて行われます。
- 2023年度、金融庁・金融教育公開授業が、幼稚園では初、本学での開催予定。(2022年度は江東区立第二辰巳小学校および筑波大学附属小学校。)

## 受配者指定寄付のお願い

「受配者指定寄付金」とは、私立学校の教育研究の発展のために寄付をして頂く際に、日本私立学校振興・共済事業団を通じていただくと、寄付金は全額損金扱いとして、税の優遇措置を受けていただける制度です。

### ◆ 寄付募集の概要 ◆ ※寄附件数(令和4年度:2件)

- 【寄付金概要】 教育活動整備事業 教育環境の充実・向上(施設設備の整備等)。
- 【対象事業】 寄付金対象事業種別:園舎やホールなど施設整備の支援。教育や研究のための設備購入支援。
- 【税控除】 受配者指定寄付金。特定公益増進法人。
- 【寄付金募集期間】 募集期間の指定はありません。

皆様のご支援を子ども達および地域の未来の発展に向けて、対象事業に活用させていただきます。

【お問い合わせ先】 Tel:042-394-4536 e-mail:office@musashino-group.tokyo

## 竣工にあたって

十周年来、改修か改築かの検討を重ねつつも、2度3度の見直しを経て、ようやく2019年の解体工事から着手することができました幼稚園および共有施設の工事。若干の課題を抱えながらも、本年3月に竣工を迎えられる見込みとなりました。長きにわたる工事期間に際し、様々なご理解とご協力、また、過去からも続いてきた多くの支えを含め、心より感謝を申し上げます。

全館竣工に伴い、長らく地域子育て支援の拠点となってきました“おひさまハウス”は役目を終え、これまでの機能やコンテンツは、新規建物の中にて行われるようになります。以降、“園を中核とし、多様な街の機能として”

## 工事費概要

	予算	現行	差異
契約工事総額	1,493,030,000	1,493,030,000	0
設計・監修	54,000,000	54,000,000	0
契約外工事予算額	100,000,000	125,428,723	25,428,723
総工費	1,647,030,000	1,672,458,723	25,428,723
私立学校安全対策促進事業費補助	271,000,000	291,921,000	20,921,000
自己資金総額(預金取崩)	154,000,000	154,000,000	0
融資総額	1,222,030,000	1,222,030,000	0
財源計	1,647,030,000	1,667,951,000	20,921,000
差異	0	▲ 4,507,723	▲ 4,507,723
返済額	40,234,092	40,234,092	円/年
施設設備・維持関連費より充当(改定分)	16,416,000	16,416,000	円/年
※利用定員ベース(40.8%)			
過不足	▲23,818,092	▲23,818,092	円/年

※今後の世界的な経済状況を鑑みたインフレ予測を回避するため実行されました本事業ですが、後半、若干の物価高騰のあおりを受け、契約外工事の予算が超過となっていますが、おかげさまで事業も無事に竣工を迎えられそうです。しかしながら、物価変動等による予算超過が発生し、ホール通路は残念ながら実行できず、仮設の予定となっています。

※2023年度改定の特定保育料を財源(一部)とし、具現化された計画ですが、不足となる部分に関しては、利用定員や年齢別内訳の変更による補助単価補正、遊休施設の新規活用開拓、地域子育て支援事業や付帯事業への取り組み、寄付金等により充当することを目指しています。

※経年皆様にお知らせしてきました2023年改訂の特定保育料に関しては、本事業計画の実行に関する改訂のみであり、制度政策の変更や物価変動による改定は含まれておりません。

東村山むさしの 第二認定こども園 STAFF 保育園

… 温故知新、豊かな環境の園内。深き価値観を呼び戻し、広く素直な感性を子ども達の心へ育みたい …

第一：東村山むさしの幼稚園 (幼稚園型認定こども園) 対象：満3歳児～5歳児・定員270名 (0歳～2歳の各種教室あり)

第二：東村山むさしの保育園 (保育所型認定こども園) 対象：0歳児～4歳児・定員135名 (うち0歳児50名)

東村山むさしのSTAFF 保育園 (企業型型、内閣府所管) 対象：0歳児～4歳児・定員12名

【ご見学】 取材は2023年4月より受付、動画・教諭のご見学は随時受付可。 | 学校法人野澤学園 189-0025 東京都東村山町西田町2-14-1 TEL:042-394-4536

ANNIVERSARY 50th

学童、習い事、地域のために、まだまだ出来ることがたくさん！  
組織が大きくなると、産育休や異動なども増えていきます。  
幼稚園教諭&保育士(常勤・非常勤)、継続募集中！

【発行・編集】 全国認定こども園協会東京都支部・事務局長／関東支部・理事 東京都私立幼稚園連合会・政策委員、前東村山むさしの幼稚園園長 学校法人野澤学園・専務理事(政策・広報担当)野澤貴春

学園通信 Vol.17